

きずな

広域基幹林道の地滑り

(都呂々・杉ノ迫地区)

現在も止まらない状況!

主な内容

- 定例会 2～3
- 町民の声他 4
- 一般質問 5～9
- 議会日誌他 10

議会日誌

※主なものを載せています



町木「ツバキ」

4月

29日 長崎苓北会

5月

9日 島原・天草・長島架橋建設促進期成会
 総会
 10日 苓北町議会活性化等検討特別委員会
 23日 議会運営委員会
 31日 全国議長会・議長副議長研修会

6月

1日 正副議長による県関係国会議員
 への要望
 7日 平成29年第14回議会定例会
 〃 全員協議会
 8日 平成29年第14回議会定例会
 〃 議会活性化等検討特別委員会
 18日 関西ふるさと会
 8・20・27・30日
 広報委員会

7月

5日 広報委員会



町花「はまゆり」

次の定例会は **9月**です。

皆様の傍聴をお待ちしております。

6月定例会の傍聴者は、**47人**でした。

議事録は『苓北町役場ホームページ』
<http://reihoku-kumamoto.jp/gikai-gijiroku/>
 で閲覧できます。

表紙写真

昨年4月に発生した熊本地震直後より、現在も止まらない広域林道都呂々木場杉ノ迫地区の地滑り災害の状況写真。

また、その他に都呂々町道善亀線も地滑りが発生し路面が約15センチの段差が生じている箇所もある。

編集後記

将棋の最年少プロ棋士、藤井聡太四段(14)が竜王戦決勝トーナメントで30年ぶりに記録更新となる29連勝の偉業を達成し、日本中を沸かせてくれたが、7月2日、佐々木勇気五段に敗れ「30」連勝とはならなかった。彼のこれからの活躍に大いに期待したいと思う。

敗れたといえば、同じ7月2日に行われた東京都議選では、自民党が歴史的な惨敗であった。今回の選挙は、安倍政権運営を左右すると言われるほど注目された選挙であったが、「加計学園」問題や、防衛大臣の「失言問題」などの逆風に打ち勝つことができず、小池都知事が率いる「都民ファーストの会」が圧勝した。この敗北により、安倍自民党がどのように信頼を取り戻すのか、また、このまま都民ファーストの会が国政に進出し、日本全体に影響を及ぼすのか、今後、国民にとっては大きな関心事ではないかと思う。

※前回101号の2頁・1段目、後ろから7行目・5文字目に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。誤り額 正し増

一般質問

(6議員登壇)



松本良人議員

問 過疎化少子化、消滅自治体の話がささやかれる中で、安心安全の町として荅北町を維持していかねければならない。特に子供や孫達に将来負担のかからない行政の執行は言うまでもない。

先の議会で「大型の投資に伴う借入金の返済や、維持管理費が多額な施設、経済効果が望めない事業や施設が多くある一方で、町民に不安をあたえながら進められている事業があり、町財政を圧迫している」という質問した。

29年度予算においても、町民に直接関係する防災、インフラの整備ほか数々の問題点を取り残され、町民に不安、不便、不備そして、危険をも与えているように思われる。

荅北町の財政状況に合わせ
今後の政策、施策、計画等
についてお尋ねする。

町長 指摘のように将来に負担を残さないような形できちんと返済していかなければならない。借金をしないために何もかにも事業を減らしていくという事になると、いろんな分野で活力をそぐことになる。そこは財政と見合わせながら、やって行くものはやっていくと言う考え方で行きたい。財政の健全化の中でやっていると思うているが、借金は借金であるので、やるべき仕事、止める仕事をしっかりと検証しながら財政健全化を更に進めて行く。

り、財政があやぶまれると思
われるが？

町長 交付税が入ってくる。
要望 今後、交付税措置がい
つまで続くか分らない中で、
自主財源が起債を返していく
だけの余力があるかは常に把
握しておかなければならな
い。他からもらう財源を当て
にした行政は、将来が危ぶま
れる。慎重に対応を望む。

大～築け！
00年の礎～」
の積み重ねが、
大きな収穫や発展に）
茶北町の
手後、20年後！
財政状況に
今後の政策

問 今後、税収が減額となると思われるが、10年後の借入金の返済と徴税の状況は？

苓北中学校
 生徒が
 「積小為大」
 1
 (小さな努力が
 やがて大
 大丈夫が
 10年
 苓北町の
 合わせた
 を問う？

町長 振興計画の中で作成している。税收につながる事業、増やす施策を講じたい。

問 津波対策として数十億
の予算が投入され、避難所と
してサッカー場や広場等は整

課長 31年度までの財政計画を作成している。30年度に振興計画を策定するので、洗い直しをやる予定。

備されたが、最優先として取り組まなくてはならない消防施設の津波対策は放置され、2～3 mの高波にも対応でき

問 私なりに町資料により公債費率を変動の少ない固定資産税により積算してみた。29年度57・7%、37年度69・9%であった。税収に対する公

ない所にある消防倉庫には手もつけられていない。又消防倉庫（第1班）の入り口は、崖が崩壊の危険性があるが、急急の対策さえ先送りされて

長崎苓北会

4月29日(土)、長崎市内のホテルニュータングで約70名の参加で開催されました。

苓北町からは田嶋町長、議会からは山本議長をはじめ山下時義・松野重幸・田嶋豊昭各議員、町職員、各種産業団体関係者の計11名が参加しました。

総会は、平成28年度事業報告、会計報告、平成29年度活動計画、役員紹介が行われ、原案どおり可決、承認されました。続いて、長崎県知事(代理)、長崎市長、長崎・苓北交流倶楽部代表(代理)、苓北町長、町企画政策課長(町の紹介)のあいさつがありました。

懇親会は、山本議長の乾杯で始まり、中国変面ショー、じゃんけんゲームと有意義な交流が生まれました。

大坂リバーサイドホテルの
関西ふるさと苓北会
(田嶋豊昭)

4階は、荅北弁であいさつを交わす人たちであふれていました。6月18日(日)、関西ふるさと荅北会第26回総会と懇親会が200名近い出席で盛大に開催されました。

富岡出身の幹事 中村陽子さんの司会で第1部が開会。坂瀬川出身の山崎信親会長、名誉会長の田嶋町長、兵庫県副知事 金澤和夫さん(元熊本県副知事)、荅北町議会から錦戸副議長があいさつをされ、来賓のあいさつが続きました。

第2部は富岡出身の松尾くららさんの歌謡ショー等々、抽選会で盛り上がりました。後方では例年通り故郷の物産店が大にぎわいで、なつかしい品々を買い求める人でいっぱいです。帰りは大きな土産袋を重たそうに持ってる人がたくさんで、また来年も参加しますと言ってる人が大勢でした。気がねなく田舎のなまりでおしゃべりをし、交流を深めた一日ではなかったでしょうか。

(石田みどり)

大坂リバーサイドホテルの
関西ふるさと苓北会
(田嶋豊昭)

した。気がねなく田舎のなま
りでおしゃべりをし、交流を
深めた一日ではなかったでし
ょうか。
(石田みどり)

課長　　いる。どう対応されるか？
消防倉庫（第1班）は
緊急防災減債事業で行う。

の栽培が行われ、会も発足されている。町の新しい作物として取り上げられないか？

津波に対する消防倉庫の対応は、考えていなかった。今後、消防団と協議をしながら建て替えるようにして行く。

課長 オリーブの栽培は、農家と一緒に考えていきたい。オリーブ農家の対策として、29年度から独自産業化

問 都呂々涼松地区の広域林道、善亀地区の地滑りは危険度を増している。豪雨時に被災した場合、土石流が発生し下流部の人家、人命の危機に瀕する恐れがあるが？

推進補助金を創設し、オリ
ブ油の搾り機械等の導入、製
品化に助成し進めていく。

要望 町道及び林道、公園、
町駐車場、小河川、町河川、
県河川等、町有管理物件等維

課長 早い時期に地元説明会を開催し周知を図る。

問 農業従事者の減少や高

持管理が行き届いていない。
その要因は、職員が不足して
いるのではないか？

齡化、後継者不足、これに伴う遊休農地・耕作放棄地の増加が深刻化している。遊休農地・耕作放棄地の増加は農業振興のみならず、水害、地滑り、急傾斜崩壊等の国土保全、イノシシ等の鳥獣対策にも関係するとも思われるが？

茶北町民は、質の良い町民サービスを求めている。意欲と能力が十分發揮される職場を作り、町民に応えるべき。財政難を切り抜ける為に、職員を減らし、サービスの低下を招く町政は反対。職員数を減らす前に事業を見直し、

課長 独自産業化の推進補助金として、新しい作物の取り組みに補助金制度を創設した。小規模農家が取り組みやすい作物と助成制度により進めて行きたい。

問 荅北町でも、オリーブ

無駄。無理な事業のチエックを行い、町民と苦楽を共にするこそ、小さな町が進むべき道。荅北町には、大それたより、まだまだ、小さな事で、町民の方々が求められている諸々の案件がいっぱいある。



石田 みどり 議員

1. 小中学校の 各教室に エアコン設置

問

27年3月議会でも質問をし、今までも他の議員さんからも出されている。前回の私の質問に対し、町長は「荅北中学校は3校が統合して新たな中学校として開校するので今後国へ要望、申請を行う予定である」との答弁だったが、2年を経過しているが国への要望は？

今年5月から真夏日が続き異常な気温上昇になっている。扇風機は回っていても全体には届いてない状況にある。特に荅北中学校は田んぼの真ん中、においや虫も入ってきて、暑くても窓を閉めざるを得ないと聞いている。

今ほどの家庭でも公共の場でもエアコンは当たり前。時代。将来を背負っていく大事な大事な子供たちに、授業に集中できる環境を整えてあげ、政の責任であると思う。全学校に太陽光パネルも設置してあるので、電気代はそうかからないはず。早急にエアコン設置を考えて子供たちの学習環境を整えていただきたい。エアコン設置にどの位の予算がかかるのか。



町長 これまでも複数の議員の皆さまからエアコン設置に一般質問が出されている。現状は保健室や職員室等特別教室には設置している。生徒の疾病の関係で荅北中学校普通教室1教室には設置している。本年度は更に教室に設置予定である。小中学校の全教室に設置するとした場合の予算は8、100万円程度になる。国の交付金等の確保ができた第、随時設置を行っていく。

2. 町民の健康の 向上に対する 町のとりくみ

問

今年度から国保税が上がり、町民の負担は大変重くなってきた。今までも議会の度に町民の健康の向上の

取り組みについては質問も出ている。町民からも地域で健康向上に対する取り組みをしてほしいとの声も出ている。今年度から保健師も複数になり、町民の健康面により細かく対応できると町長は言われていたが、今年度新たな計画や取り組みはあるのか。町民が健康になる事で健康寿命を伸ばせて、国保の負担も減らすことができる。また、町民検診の状況も教えてほしい。

町長 町の検診の現状は地域の公民館で行うのと医療機関で行うのがある。近年の町民の死亡原因は、がん、心臓疾患、脳血管疾患が全体の6割を占めている。検診結果で保健指導等もやっているが、ここ数年検診受診率が伸び悩んでいるのが現状。新たな取り組みとしては、本年度健康運動指導士の採用を予定していたが未だ採用に至っていない。採用までの間、後期高齢者説明会時に健康運動指導者を行う予定にしている。また、本年度から国保連合会の保険者データヘルス支援システムが充実し、どこの医療機関を受診しているのか、長期入院の方、高額医療の方、心疾患患者リスト、重複受診リスト、頻回受診リスト、治療中断リストなど、あらゆるリストが抽出できるようになったので、このリストを活用して、対象者の方々の集中的な保健指導、重症化予防に取り組んでまいりたい。

問

運動をしたら、ポイント制にして加算をしていく期間と上限を決めておいて、溜まったポイントで町内の商店で買い物ができる。ポイントをつけることで楽しみがで健康になる。町内の商店も活性化できたらいいことないと思うが、ぜひ実行してほしい。また、栄養面も気になる。人生の後半はタンパク質の摂取量が少なくなり栄養失調との戦いだと言われている。10品目食品群チェックシートなども各人に配りチェックをしてもらう。そういうのもぜひ活用してほしい。今、全国各地で活用されている。町民が健康になれば医療費も減らせる。一石何鳥にもなるのではない。



浜口 雅英 議員

1. 農業の振興

問

イノシシの被害は深刻。撲滅へ思い切った対策が必要。

町長

地元猟友会に捕獲の全面委託等もある。県の対策協議会や近隣の市と取り組む。

問

ナルトサワギク対策も必要。

町長

県、牧場主と協議。牧草の生育で抑制させる方法を試みている。

問

企業誘致

菌止めが効かない人口減少に、働く場所の提供が効果的。熊本天草間幹線道路全線完成が絶対要件。企業誘致状況は。

町長

誘致を進めているマゴロ養殖は育成技術が進めば進出が考えられる。旧坂瀬川公民館跡に衣類製造業が操業予

定。5名程の雇用。

幹線道路は今年の10月29日に鳥民の決起集会を行う。

観光客の誘致策と

宿泊希望者への対応

富岡茂木間の航路振興

や都市再生計画による宿泊希望者の見込み数は。宿泊場所の確保は課題とされていた。

町長

宿泊者の見込み数はしていない。交流人口の拡大を図り多くの方の宿泊を考えているが約200名しか出来ない。宿泊施設を誘致する。

町民の健康

児童・生徒の

通学路の安全性確保

通学路の安全性確保

通学路の安全性は確保されていない。

町長

通学路交通安全プログラムの策定した。安全確保を検討していく。

問

国道、県道、町道に係る交差点横断歩道の表示が消えかかっていたので『横断歩道の白線が消えかかっている。児童生徒の交通事故の未然防止、地域住民の安全確保のため早急な対策をお願いいたします』と写真7枚を添付

し、平成29年4月17日に『知事への直行便』を郵送。県は、『本件は、熊本県警の所管です。県警に伝えるので詳細はそちらにお尋ねください。』

この県知事公室広報グループの返事を見、笑止千万、『知事への直行便』と謳いながら典型的な行政のたらい回し。町は用紙配布の窓口だが、県の取り組みをどう考えるか。

町長

直行便はすぐ解決していただけるものと考えてが解決できない問題もあると思う。

問

スクールバス町有バスを最大限活用し高齢者や町民の交通手段を確保すべき。色んな団体が送迎等に自動車を運行。町内バス等の運行者で協議会等を組織し安全で効率的な運用経費節減等協議したかどうか。

町長

都小スクールバスは一般の利用も可能。巡回バスとスクールバスの運行計画は課題検討中。高齢者等の交通対策はタクシー料金一部助成の「在宅高齢者等移送サービス事業」を実施。本事業等の充

実により交通弱者対策に努める。巡回バスの有効活用を検討する際、事業者との調整等必要と考えられる。

道路等の維持と管理

富岡東海岸町道は大雨

の度に路面が冠水し車両、ひと等近隣住民を悩ませている。

町長

富岡東海岸の富岡港線路面の水溜りは車や人の通行に影響がある。排水施設の改修が必要か確認させる。舗装の傷み。破損やカタカタと音がする側溝蓋。ガードレールが必要な箇所等も優先順位を付けて対応。浜之町海岸の松は補植する。

問

防災計画に原発の事故を想定した対応が示されている。直近の原発は鹿児島県と佐賀県に立地。近年近隣諸国で国同士の関係緊張による攻撃用ミサイルの試射が多発。日本の原発が標的にされている可能性は否定出来ない。万一に備え具体的な避難の対応策と行動が必要。

町長

原子力災害対策指針の改定により国から避難等の必

要性が示された場合は、県等関係機関と連携し避難体制の構築を図る。また、『避難実施要領のパターン』の作成に努めている。

地滑り対策

先の定例会議で都呂々

の町道ヒビ割れが大規模な地滑り災害を引き起こす恐れを問題提起。その後の取組は。

町長

シートで覆っている。災害申請への調査等をしたい。

問

広域基幹林道も崩壊している。現状を注視し地域住民の安寧を図る必要がある。

町長

地滑り面の特定と発生要因の観測を継続する。県と安全の確保を図る。

教育の振興

ICT社会への対応

ICT教育に関連する

予算が町内全小学校の授業に計上。中学校教育費には計上されていない。ICT教育の推進のため補正により必要額を計上すべき。

町長

本年度は予算計上していないが、小学校での導入成果の状況を見ながら、なるべく早く中学校にも導入する方向で検討していく。

町長 訓練では、全職員を配置する非常体制を想定し、緊急の連絡、参集指示を行い、参集までの時間把握を行った。結果は、35分までに参集を完了

問 3月の定例会で、災害発生時に於ける職員の初動対応確認のために梅雨に入る前に参集訓練の行動を要請した。

●早速4月18日早朝抜き打ちの訓練が実施された。職員の防災意識の高揚と迅速な対応に敬意を表すると共に検証で得た成果と今後の取り組みを伺う。

災害発生時における
職員参集訓練の
結果は



高戸幸雄 議員

- 苓北火力発電3号機の可能性は**
- 再生エネルギーの取り組みについて**
苓北近海での海流発電の可能性は



倉田 明 議員

問 2011年3月11日に発生した東日本大震災で、東京電力福島第二原子力発電所事故の影響で12年5月には国内全ての原子力発電所が停止された。この事故で当時6割ほど占めていた火力発電は一気に9割程度まで上がった。しかし、16年、地球温暖化対策「パリ協定」が発効され、環境省、経済産業省は国際公約達成に向け危機感を抱いている。石炭火力発電は最新設備を導入しても二酸化炭素排出は、液化天然ガスの二倍程度あり計画中の約40基程が稼働すれば、政府が30年度目標とする全体の排出量を7%上回るとされている。

経済産業省「エネルギー白書2016」発電供給量割合は、13年で液化天然ガス46.1%、石炭31%、石油等10.6%、水力等9%、風力・太陽光など3.2%、原子力0%。なお、原子力は、現在4基が再稼働している。

苫北火力発電増設計画等は事業者に属するところではあるが、発電所立地町として見通しは。

現時点具体的計画無い

町長 現在、環境省では2030年の国全体の温室効果ガス削減目標（13年比で26%削減）を15年7月に国際公約に掲げ、その目標達成に向け二酸化炭素の排出量が多い石炭火力発電を縮小するよう、経済産業省と電力業界に再三要請しているようだ。

しかし、15年4月に作成したエネルギーミックスでは、石炭火力発電の効率化を図るため複合発電など、環境負荷の低減と両立しながら、その有効活用を推進することになっている。

国の原子力政策の動向で原子力をやめ、石炭と複合発電などへ舵をきったなら3号機（複合高燃焼）の可能性も大きくなると思われるが、九電に3号機の可能性を尋ねたが、現時点で具体的計画は無いという回答だった。

問 地球温暖化抑制に向け近年、石油や石炭など化石燃料を抑え太陽光や風力発電などの自然エネルギーが重要視

されている。

現在、本町へ風力発電事業の申し入れが富岡京の坪付近（19・6KW）、志岐水の元観音（財産区土地7500KW約4千世帯分）付近がある。

一方、海流発電について今年秋、鹿児島県口之島で実験が行われ、実証にはIHⅠ、NEDO、東京大学、三井物産が参画し、時速3～4ノットの黒潮が流れる海域。実用機1000KWの二基で発電コスト20円を目指され、施設稼働率は高く、太陽光10～15%、風力20～30%、海流発電は60～70%と安定稼働が期待でき2020年代の実用化を進めている。

海域利用に関しては、漁業関係者や地域住民のご理解が前提であり、また、町の事務が及ばない分野でもあるが、近海での海流発電の可能性について町長の見解は。

実証実験の動向で検討

町長 現在、国では海洋エネルギー開発の推進を図るため、平成25年4月に「海洋基本計画」を閣議決定し、実証



実験を公募し、和歌山県紀伊半島沖で黒潮を利用した海流発電計画の実施に向け検討委員会を設置したと聞いている。検討委員会では、船舶往来や漁場への影響調査、また、発電の要となる海流も年によって流れる場所や強さが大きく変化しているという海洋調査データもあり、海流をどこまで効率的に捉えて安定的な発電ができるかどうか課題となっている。

また、後で協議のとき話しますが、本町にはもっと大きい風力発電が来ると思われる。そのような中で、峇北近海での海流発電の可能性については、今後の実証実験の動向により可能性を検討したい。



問 一般会計に於いて、平成25・26・27年度過去3年間何れも単年度実質収支赤字となっており財政状況の見通しは、大変厳しいと意見を述べてきた。

●平成28年度出納閉鎖を終えたばかりだが単年度実質収支の見込みは。

●本町の財政健全化で大きな要因は、議会毎の補正予算に発する。補正とは、緊急かつ法的な改正による金額の変更が通常のあり方である。当初計上予定を補正で対応すると

補正予算に対する考え方は、予算編成要領で定めている「制度改正、社会保障に要する経費、災害対応に要する経費」のみ対応することとしている。

補正にて対応した事業としては、緊急防災関連・河川防災（小路川改修）・災害復旧事業等を提案した。

29年度は、今回の漁港整備（坂瀬川漁港）その他都市再生事業については、決定通知後補正で対応したい。

起債については、財政健全化に向け最重要と理解してい

答弁
繰越明許費は、当初予算に於いて考えたところである。事業についても、補正ありきとした考えではなくこれまで以上な認識をもって予算の執行に努めていく。基本的には、国の経済対策の中で、町にとって有利な事業については起案を議会に諮っていく。

は、付近の住宅に影響はないが、今後の増破次第では無いとは言えない。現状と今後の復旧計画は。

林道は、調査が行われている。現状を知らせる上からも早急に住民説明会を要望する。

町長

広域基幹林道・町道善亀線
いまだ被災状況が続いている
調査し収束を確認し具体的
な対策に取り組む。

補正予算と
財政の健全化に
ついて

し全職員が迅速に対応できると判断した。

非常時に於ける緊急連絡、配置、並びに災害対策本部の組織体制及び分掌事務等について再確認を行った。

今後、いろいろな場面を想定した訓練の取り組みを継続し実施していく。

●起債の借り入れについては当初では、借入額より元金償還額が多く計上されているが、決算においては、26・27年度何れも反した状況である。各種事業成り立ちによる結果ではあるが再考を要する」と解する。

再問
29年度の起債額においても、今回報告がある28年度繰越明許費及び補正に係る額及び、今後想定される災害復旧費等を考えると今年度も借入額より償還額を多くするのは難しいのではないかと。
事業の再考も必要である。

都呂々木場地区の
地滑りの現状と
今後の対応は

問

現地の被災を確認した。広域基幹林道では、法面の崩壊むろん斜面の崩落が進みいまだ被災そのものが続いている。路体にも多大な影響があると懸念をもつた。

善亀線は、被災箇所シートを被覆し状況悪化対策が講じてある。位置からし今すぐには、付近の住宅に影響はないが、今後の増破次第では無いとは言えない。現状と今後の復旧計画は。

林道は、調査が行われている。現状を知らせる上からも早急に住民説明会を要望する。

9

3